

自分のための「積立方式」

自分の年金を自分で積み立てるから、少子高齢時代に強い！

加入者が自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式・確定拠出型」の年金です。

保険料を支払っている世代の人数や、年金を受給している世代の人数がどのように変化しても、その影響を受けない安定した制度ですので、少子高齢時代でも安心して加入できる制度です。

積み立てた保険料は、農業者年金基金が安全性重視の運用を行っています。

農業者年金の受給額(年額)の試算

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	61万円	52万円	1,306万円	1,394万円
		2万円	960万円	80万円	68万円	1,718万円	1,833万円
30歳	30年	1万円	660万円	47万円	40万円	1,017万円	1,086万円
		2万円	720万円	53万円	45万円	1,140万円	1,216万円
40歳	20年	2万円	480万円	31万円	27万円	675万円	720万円
50歳	10年	2万円	240万円	14万円	12万円	301万円	321万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.70%となった場合の試算です。

受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の金額です。

※保険料額1万円のケースは、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は月額2万円で加入した場合です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の20年間(令和3年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.94%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和5年度は0.70%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

